



やの周子

市政報告夏号



周子、6月定例議会の質問に立つ! 復旧復興に向けての質問!



倉敷市議議会 6月定例会が、6月10日から7月3日まで開催され、周子は、市民の皆さんのお声を反映すべく、今議会も登壇し質問に立ちました。

(1)復旧復興に向けて

- 1、7月豪雨災害対応から
 - ①小田川の右岸左岸の避難情報発令時期について
 - ②防災士の育成方法について
- 2、災害公営住宅について
 - ①建築方法や（民間力の活用について）場所、戸数、高齢者や障がい者、ペットについての考え方
 - ②コミュニティの維持について
- 3、被災した児童生徒への就学援助について
- 4、被災した学童保育に関する支援について

(2)子どもに安全で安心な環境整備を

- 1、通学路のチェックをして、危険個所の把握と早期対応を
- 2、地域での見守り強化と地元の警察OBの活用を
- 3、不登校児や引きこもりになっている方に対し、継続して寄り添った支援を

(3)保育園の待機児対策について

来年4月からの具体的な取り組み内容について

(4)子どもの貧困について

- 1、岡山県で行なった生活実態調査報告後の取り組み
- 2、子ども食堂について
 - ①地域での活動に支援を
 - ②現場の実態調査を

3、国の要保護児童生徒援助補助金の引き上げについて倉敷市として、準要保護家庭の就学援助についてはどのような対応を考えているのか

(5)日中一時支援について

- 1、有資格者を配置し、安定した事業所運営を図るべきと考えるがどうか
- 2、いざという時のために避難訓練等の対応はできているのか

以上5項目について質問しました。学童保育については住んでいる近くの学童を紹介して対応していくとの答弁や準要保護家庭の就学援助は早い時期に支給するとの答弁でした。

真備町が罹災を受けて1年が経ちます。

7月5日には豪雨災害の復興式が行われ、真備町の早期復旧復興を参列者皆さんでお祈りしました。

全国市議会議長会15年表彰を受ける



これからも、現場主義、市民目線、女性の視点で、皆さんに寄り添いながら、頑張っ活動をしていきたいと思っています。

災害対策に関してのご意見をお聞かせ下さい。